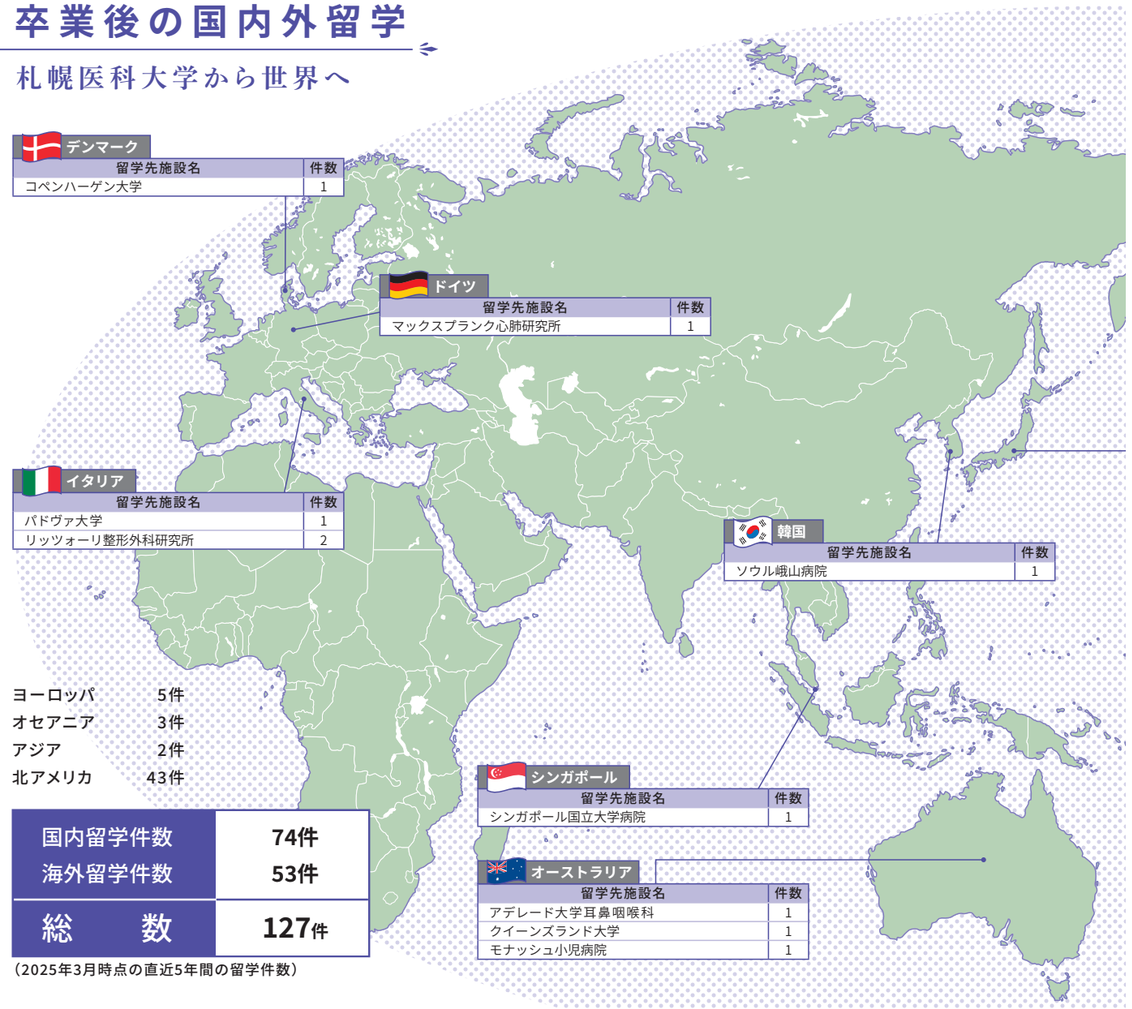
卒業後の国内外留学

札幌医科大学から世界へ



デンマーク

留学先施設名	件数
コペンハーゲン大学	1

ドイツ

留学先施設名	件数
マックスプランク心肺研究所	1

イタリア

留学先施設名	件数
パドヴァ大学	1
リッツォーリ整形外科研究所	2

韓国

留学先施設名	件数
ソウル峨山病院	1

シンガポール

留学先施設名	件数
シンガポール国立大学病院	1

オーストラリア

留学先施設名	件数
アデレード大学耳鼻咽喉科	1
クイーンズランド大学	1
モナッシュ小児病院	1

ヨーロッパ	5件
オセアニア	3件
アジア	2件
北アメリカ	43件

国内留学件数	74件
海外留学件数	53件
総　　数	127件

（2025年3月時点の直近5年間の留学件数）

カナダ

留学先施設名	件数
プリンセスマーガレットがん研究所	1

アメリカ

留学先施設名	件数
MDアンダーソンがんセンター	1
The Institute for Extracorporeal Life Support	1
アメリカ国立衛生研究所	1
イェール大学	4
ウェイン州立大学ミシガン小児病院	2
カリフォルニア大学サンフランシスコ校	4
コロラド大学デンバー校	1
ジョンズ・ホプキンス大学	1
シンシナティ大学	3
ダナ・ファーバー癌研究所	4
テキサス大学	1
デューク大学	1
ノースウェスタン大学	4
ハーバード大学	3
米国国立歯科・頭蓋顔面研究所	1
ベイラー大学	1
ボストン大学	1
マサチューセッツ医科大学	1
マサチューセッツ総合病院	3
メイヨー・クリニック	1
モンテフィオーレ医療センター	2
ワシントン大学	1

日本

	留学先施設名	件数
宮城県	仙台医療センター	1
栃木県	済生会宇都宮病院	3
	自治医科大学	1
千葉県	国立がん研究センター東病院	1
東京都	がん研究会有明病院	2
	北里大学大村智記念研究所	1
	国立がん研究センター	3
	国立がん研究センター中央病院	2
	国立成育医療研究センター	5
	国立精神・神経医療研究センター	1
	昭和大学	2
	帝京大学	2
	東京女子医科大学	2
	東京女子医科大学附属足立医療センター	1
	東京大学	3
	東京都立小児総合医療センター	1
	東京都立多摩総合医療センター	1
	国立国際医療研究センター病院	1
神奈川県	相模原病院	5
富山県	富山大学	1
静岡県	静岡県立こども病院	1
	静岡県立静岡がんセンター	6
愛知県	藤田医科大学医科学研究センター	2
	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院	2
三重県	三重大学	1
	三重大学大学院	1
	三重病院	1
大阪府	国立循環器病研究センター	6
兵庫県	神戸医療センター	1
	兵庫医科大学	1
奈良県	天理よろづ相談所病院	1
岡山県	倉敷中央病院	1
広島県	広島大学	1
徳島県	徳島大学	1
福岡県	九州医療センター	3
	小倉記念病院	2
	福岡市立こども病院	1
長崎県	長崎大学病院	1
熊本県	熊本大学	1
宮崎県	宮崎大学	1

卒業生からのメッセージ

東京科学大学大学院
医歯学総合研究科
臨床腫瘍学分野、主任教授

浜本 康夫

Hamamoto Yasuo

1995年卒業
医学部医学科
札幌旭ヶ丘高校出身

私は腫瘍内科医として新規抗がん剤治療や緩和ケアなど進行したがん患者さんの診療に携わりながら東京科学大学（旧東京医科歯科大学）で診療・研究・教育に取り組んでいます。代表的な難治疾患に対する新しい治療法を患者さんに届けること、次世代の医療者を育てることは、大きなやりがいのある仕事です。札幌医科大学で過ごした6年間は医師としての基礎を築いた大切な時間でした。大学でたまたま柔道を始めましたが競技だけではなく一緒に過ごすことで強い絆が生まれました。大きな大学ではないことで人と人との距離が近く学年や診療科を越えたつながりが生まれやすい環境でした。

卒業後は第一内科に入局し、消化器内科、膠原病、血液疾患などを学び、さらに道内の関連病院でさまざまな臨床経験を積みました。各地の医療現場で鍛えられた経験は、非常に貴重でした。5年目の医師になったときに教授に推薦され国立がんセンターに国内留学した時も全く引け目を感じることなく飛び込め現在の私の大きな支えになっています。札幌医科大学には、地域に根ざした医療を学べる環境と温かい人間関係があります。この大学での経験は、きっと医師としての土台になるはずです。

○経歴
- ・1995年4月　札幌医科大学附属病院　臨床研修医
- ・1996年6月　社会保険事業小樽協会病院
- ・1998年6月　芦別市立病院
- ・1999年8月　国立がん研究センター東病院　任意研修医師
- ・2001年1月　札幌医科大学附属病院　医員（研究生）
- ・2003年6月　国立研究開発法人　国立がん研究センター東病院　非常勤医師
- ・2005年6月　栃木県立がんセンター
- ・2011年7月　慶應義塾大学医学部　特任講師
- ・2019年12月　慶應義塾大学医学部消化器内科　准教授
- ・2024年4月　東京医科歯科大学大学院臨床腫瘍学分野主任教授
- ・2024年10月　東京科学大学大学院臨床腫瘍学分野主任教授（統合による名称変更）

札幌医科大学
整形外科学講座
助教

廣田 亮介

Hirota Ryosuke

2010年卒業
医学部医学科
旭川東高校出身

手術を行う臨床医が、新しい治療薬の研究開発にも関わる

私は北海道出身で札幌医科大学を卒業し、現在は母校で脊椎外科医として診療や手術に携わる一方、脊髄損傷に対する再生医療の研究にも取り組んでいます。脊髄損傷は一度損傷すると回復が難しい疾患ですが、本学では間葉系幹細胞を用いた研究が進められ、その成果は脊髄損傷に対する再生医療製品として世界で初めて保険診療下で使用可能となった治療薬「ステミラック」として実用化されました。私はその基礎研究や適応拡大にも関わりながら、臨床医として患者さんと向き合っています。また近年はアメリカのYale大学に留学し、世界中の研究者とともに神経疾患の病態解明や再生研究に取り組みました。目の前の患者さんを診療するだけでなく、新しい医療を生み出す研究に挑戦できることは医師という仕事の大きな魅力です。札幌医科大学には臨床と研究が近い距離にあり、基礎研究から臨床応用まで一つの大学の中で取り組める環境があります。ぜひ札幌医科大学で、自分だけの医師としての未来を切り拓いてください。

○経歴
- ・2010年3月　札幌医科大学医学部医学科卒業
- ・2012年4月　札幌医科大学附属病院　整形外科
- ・2016年4月　札幌医科大学大学院医学研究科器官機能制御医学専攻入学
- ・2020年3月　同大学院卒業
- ・2020年4月～2024年1月　札幌医科大学　整形外科学講座　助教
- ・2024年2月～2026年1月　Yale University School of Medicine, Department of Neurology, Center for Neuroscience and Regeneration Research, Postdoctoral Associate
- ・2026年2月～　札幌医科大学　整形外科学講座　助教